

令和 8 年 度 着 手

東荒井地区 農業用排水施設事業 計画概要書
【県営経営体育成基盤整備事業（土地総）】

事業主体 福 井 県

第1章 目 的

本地区の排水路は、昭和52年から平成元年にかけて 県営ほ場整備事業 兵庫川右岸地区 によって整備された。しかし、整備から約40年が経過した現在、アーム柵渠の柵板のずれや傾き、損傷・欠損など老朽化が顕著となっている。さらに、河床の洗掘や背面土砂の吸出しも発生しており、施設の維持管理には多大な労力とコストが必要な状況である。

近年は、農地の集積が進み、担い手による経営規模の拡大や生産の効率化、高収益作物への転換に取り組む農家が増加している。こうした状況下において、排水施設の老朽化は、さらなる農地集約化や持続的・安定的な農業経営を推進する上で大きな課題となっている。

そこで本事業では、老朽化した排水施設を管排水路へ更新するとともに、暗渠排水による農地の汎用化を進め、農地の有効利用による農作業の効率化と維持管理の省力化を図る。これにより、スマート農業の導入や低コストで持続可能な農業経営の基盤を構築し、担い手による農地集積や高収益作物の生産拡大を支える環境づくりを進める。抜本的な排水施設の整備を通じて、地域農業のさらなる成長と将来にわたる安定的な発展を目指す。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地 域

坂井市 坂井町 ： 木部東、東荒井、蛸 地係

第2節 地 積

事業名 地 目 市町村名	農 業 用 用 排 水 施 設						備 考
	田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)			計 (ha)	
坂 井 市	60.2	—	—			60.2	
計	60.2	—	—			60.2	

第3節 現 況

1. 気 象

観 測 所 名	福 井 観 測 所	か ん が い 期	非 か ん が い 期	計または平均
観 測 期 間	H 23 ～ R 2	5 月 ～ 9 月	1 0 月 ～ 4 月	(年 間)
平 均 気 温 (℃)		23.8	8.9	15.1
平 均 降 水 量 (mm)		194	207	202
平 均 降 水 日 数 (日)		11	17	15
根 雪 期 間		1 2 月 ～ 3 月		日 間
無 霜 期 間		4 月 ～ 1 1 月		日 間
最 多 風 向	S (南)	最 大 風 速		21.8 m/ s

2. 地 形 地 質

本地区の地形は標高1.5～2.5m、勾配1／1500～2500（主傾斜1／2000）となっている。

本地域は福井県の坂井平野西部に位置する低平地域の穀倉地帯であり、地区の西側には一級河川兵庫川が隣接し、南から北に向かって流下している。

3. 水 利 状 況

本地区の農業排水は、ほ場から支線排水路に落水した後、東西に流れる部荘幹線排水路に接続し、地区の北西にある部荘排水機場から兵庫川に排水されている。支線排水路の構造はアーム柵渠であり、柵板のずれや傾き、損傷・欠損など老朽化が顕著となっている。さらに、河床の洗掘や背面土砂の吸出しも発生しており、施設の維持管理には多大な労力とコストが必要な状況である。

4. 営 農 状 況

地区の農業は、農地所有適格法人1組織、個人の認定農業者1名からなり、近年担い手農家への農地の集積が進んでおり、営農基盤の強化と効率化が図られているが、地区の排水路は老朽化が著しく、施設の維持管理に苦慮しており、担い手への維持管理労力が集中している状況である。

また、水稻主体の営農を行っており、大麦、大豆、そばを転作する土地利用型農業を行っている。

5. 地域環境の概略

本地区には、キタノメダカ、オオタニシ、イシガイ、イチョウウキゴケ、ウスゲチョウジタデ、ミズマツバ等の稀少な動植物が確認されている。また、一級河川九頭竜川の流域に広がる農地であり、豊かな自然環境を形成している。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

1. 要 旨

本事業のより、老朽化した支線排水路を管排水路へ更新し、農地の有効利用による農作業の効率化と維持管理の省力化を図る。これにより、スマート農業の導入や低コストで持続可能な農業経営の基盤を構築し、担い手による農地集積や高収益作物の生産拡大を支える環境づくりを進める。

2. 事業別面積

土地利用区分 工 区	農 業 用 用 排 水 施 設					計 (ha)	備 考
	旧 田 (ha)	新規田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	その他		
用 排 水 路	—	—	60.2	—	—	60.2	
計	—	—	60.2	—	—	60.2	

第2節 営 農 計 画

本事業を契機に、農地利用集積を促進していくことで、効率的な営農を行うとともに、基盤整備を契機に高収益作物の収量、品質アップを図ることで、安定した農業経営を確立する。

第3節 環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

更に、保全対象生物であるキタノメダカ、オオタニシ、イシガイ、イチヨウウキゴケ、ウスゲチョウジタデ、ミズマツバ等の配慮対策を検討し保全に努める。

ア) 排水計画

单位排水量 — — — — 合理式

4時間

1/10 平地: 1.90 宅地: 3.37 山地: 3.16 m³/s/km²

第1節 工事の内容

第2節 予 定 工 期

令和 8 年 ~ 令和 13 年

第3節 管理の要領

本事業により設置された農業用排水施設は、坂井土地改良区が管理する。

第5章 換地計画の要領
第1節 換地計画樹立の必要性

該 当 な し

第2節 換地計画樹立の基本方針
1. 従前の土地の地積の基準

該 当 な し

2. 農用地集団化の方法

該 当 な し

区 分 換地区	地 帯 別 グ ル ー プ 別 団 地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 選 択	1 戸 当 た り 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 り 扱 い

3. 非農用地の換地方針

該 当 な し

4. 清 算 の 方 法

該 当 な し

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入に係る地積

該 当 な し
単位:ha

用 途 \ 区 分	機 能 交 換 に 係 る 土 地				一 般	合 計
	国 有 地	県 有 地	市町村有地	計	国 有 地	
計						

第4節 換地処分の時期に関する特則

該 当 な し

第6章 費用の概算

令和 7 年度価格

区 分	事業費 (千円)	事務費 (千円)	総事業費 (千円)	備 考
全 区	1,123,000	—	1,123,000	
計	1,123,000	—	1,123,000	

第7章 効 用

令和 7 年度価格

区 分	年 総 効 果 (便 益) 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
食料の安定供給の確保 に 関 す る 効 果	74,659	74,196	総費用総便益比： 1.17 総所得償還率： 52.3 % 増加所得償還率： 4.6 %
作 物 生 産 効 果	1,040	—	
営農経費節減効果	73,634	73,755	
維持管理費節減効果	△ 15	441	
農 村 の 持 続 的 発 展 に 関 す る 効 果	—	—	
農 村 の 振 興 に 関 す る 効 果	—	—	
多 面 的 機 能 の 発 揮 に 関 す る 効 果	598	—	
そ の 他 効 果	326	—	
国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果	326	—	
計	75,583	74,196	

第8章 他の事業との関連

該 当 事 業 な し

第9章 計画概要図

別 添 図 面 参 照

事業の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1 事業費の負担区分の予定

令和 7 年度価格

1) 総 事 業 費

・ 農業用排水 1, 1 2 3, 0 0 0 千円也 [事業費 1, 1 2 3, 0 0 0 千円也]
[事務費]

2) 負 担 区 分

【農業用排水施設事業】 令和 7 年度価格 (千円)

区 分		補 助 率	金 額	計
国 庫 補 助	事 業 費	50.00 %	5 6 1, 5 0 0	
県 費	事 業 費	30.00 %	3 3 6, 9 0 0	
分 担 金	坂 井 市	10.00 %	1 1 2, 3 0 0	
		%		
	地 元	10.00 %	1 1 2, 3 0 0	
計		事 業 費	1, 1 2 3, 0 0 0	1, 1 2 3, 0 0 0
		事 務 費		

2 地元負担の予定基準

地 積 割 に 賦 課 す る

3 負 担 団 体

坂 井 市
坂 井 土 地 改 良 区

一定地域調書

一 定 地 域 調 書

【農業用排水施設事業】

経営体育成基盤整備事業（土地総）東荒井地区

市 町 村	大 字	字	地 域								
坂 井 市	木 部 東 東 荒 井	7	1	2	3	4	5	6-1			
		2	1-2	2-2	3-2	4-2	5-2	6-2	7	8	9
			10	11-1	11-2	12					
		5	20	21	22	23	24	25	26	27	28
			29								
		7	5	6	7	8	9	10	11		
		11	1	2	4	5	6	7	8		
		16	35	36	37	38-1	38-2	39-1	40	41-1	42-1
			43	44	45	46					
		17	60	61	62-1	62-2	63	65	66	67	68-1
			68-2	68-3	69	70					
		18	36-1	37-1	38-1						
		19	46	47	48-1	48-2	49	50	70	71	
		20	26-1	26-2	26-3	27	28-1	28-2	29-1	29-2	30
			31	32	33	34	35	36-1	36-2	37	
		22	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			10-1	10-2	11-1	11-2	12				
		24	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	1-9
			2	3-1	3-2	4	5-1	5-2	6	7	8
		26	1	2	3	4	5	6-1	7	8-1	8-2
			9	10	11	12	13	14			
		27	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			10	11							
		29	1	2	3-1	3-2	4	5	6	7	8
			9								
		30	1	2-1	2-2	3	4	5			
		33	1	2-1	2-2	3	4	5			
		35	1-1	1-2	2	3	4	5-1	5-2	5-3	6
			9-1	10	11	12					
		37	1	2	3	4-1	4-2	5			
		38	1	2	3-1	4-1	4-2	5-1	6-1	6-2	
		45	210-1	210-2	211	212	213	214	215	224	
	蛸	1	1	2							
		6	76	78	79	80	81-1				

令和8年度 新規採択希望 県営土地改良事業 東荒井地区（農業用排水施設（経営体育成基盤整備事業（土地総）事業）計画平面図

福井県内位置図



凡 例 : 排水路

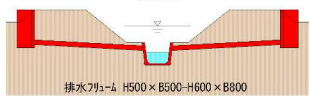
管水路 (青)

開水路（赤）

門型水路（橙）

標準断面図

排水路
開水路



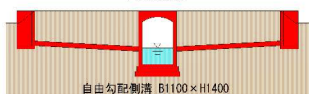
排水リユーム H500×B500-H600×B800

排水路
管水路



ポリダブル管φ300～900

排水路
門型水路



自由勾配側溝 B1100×H1400

凡 例

色 別	區 分	數 量	
	受 益	60.2 ha	
	計 畫 路 線	排水路(管水路)	3.3 km
		排水路(開水路)	0.4 km
		排水路(門型水路)	0.4 km

Scale = 1:3000